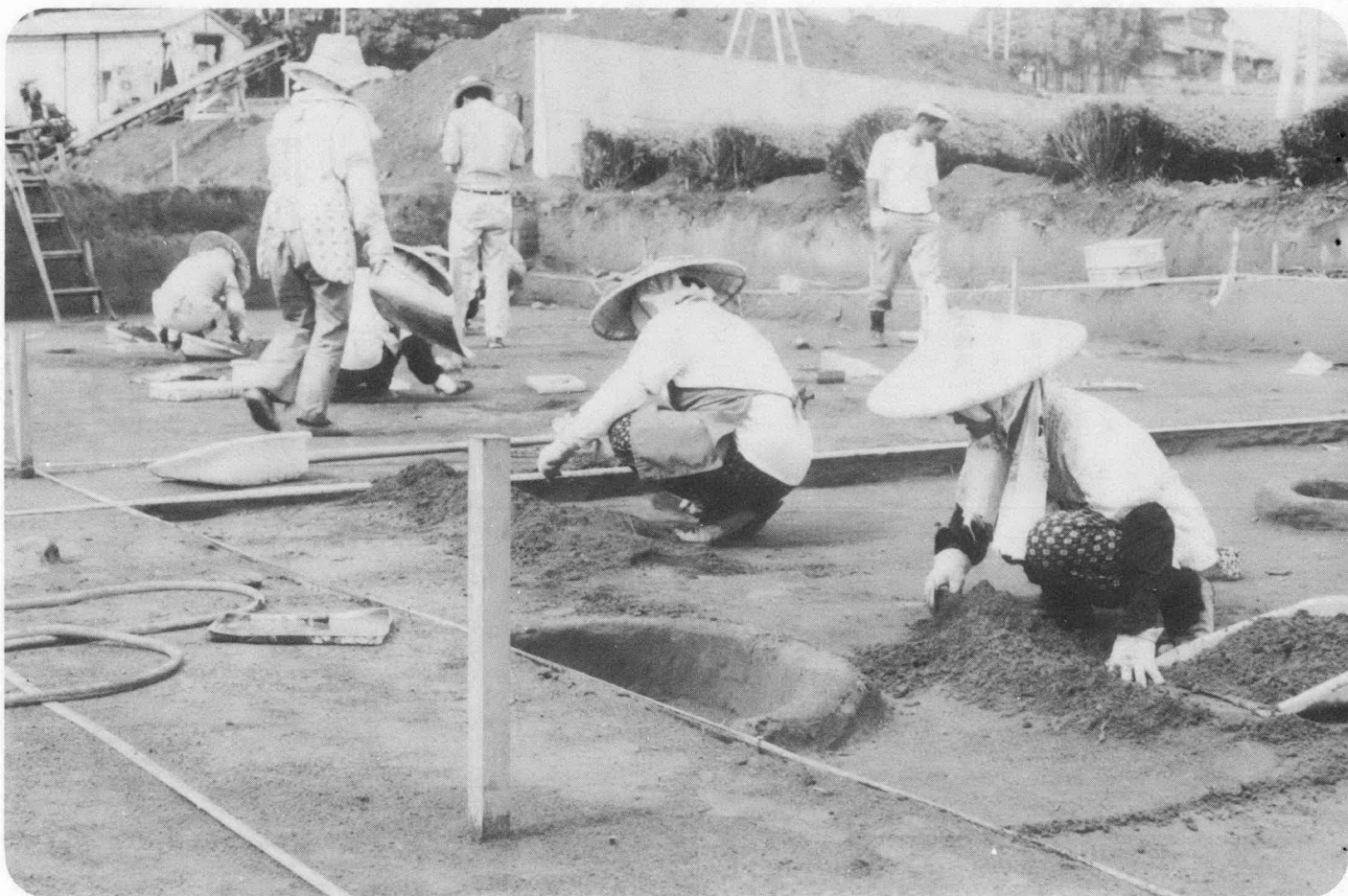


広報わたらい



縄文文化を求めて 発掘作業

久具都比売橋上久具側の取り付け道路が埋蔵文化財の包含地として知られる上久具森添遺跡の一部を通過することになったので、事前の文化財発掘調査が度会町遺跡調査会（会長大北教育長）の手により進められています。

発掘作業は地表を薄く削り取るように丹念に掘り進む大変根気のいる作業で、遙か三千年昔の縄文文化を求めて、炎天下での作業が連日続けられています。

調査の指導に当っておられる宇治山田高校の奥義次先生の話によると、縄文後期、晩期から飛鳥時代にかけての人の生活の跡が三層にわたって確認されたということで、出土文化財も縄文土器片が無数と石の矢じり、呪術マジックに使用されたと思われる石棒などが発見されています。

町のうごき

61. 7. 31現在

人口	男	4,466	計	9,186	出生	4	転入	13
	女	4,720	世帯数	2,097	死亡	7	転出	5

第2回 定例町議会

一般会計補正予算など二十三議案を可決

間伐対策事業予算などを追加

昭和六十一年第二回定例町議会は七月二十三日に召集され、七月二十八日までの六日間を会期として開かれ、提出された二十二議案と議員提案の一議案、意見書案等について審議が行われ、各議案とも原案どおり可決されました。

今議会に提案された議案は、一般会計補正予算案（第二号）を初め予算関係が三議案、条例改正議案が十二議案、その他八議案などで、初日の二十三日に議案の上程と提案理由の説明が行われ、休会をはさんで二

十五日と二十六日には議案に対する質議や各常任委員会への付託により審議が重ねられました。

最終日の二十八日には、北川、中広、山下、岩本の各議員から農地の無秩序な転用と行政指導、半島振興法の適用と町の対応、森林行政の現況と今後の課題、中学校での生徒指導、公共事業の発注と町内業者の育成、出納閉鎖と事業の完成期限などについて一般質問があり、委員会に付託された議案の審査報告の後採決が行われました。

可決された議案

昭和六十一年度一般会計補正予算（第二号）

四千七百三十七万七千円を追加し、予算総額を二十一億九千九十二万五千円にしました。

昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

二千六万三千円を追加し、予算総額を三億八千三百三十三万三千円としました。

老人保健医療の拠出金の追加が主なものです。

今回の補正は、地域改善対策事業により進められる和井野墓地・斎場整備事業や間伐等林業活性化緊急対策事業により注連指において整備される作業道の開設工事の工事請負費などが主

昭和三十九年度老人保健特別

会計補正予算（第一号）

五百八十八万七千円を追加し、予算総額を四億四十九万二千元にしました。

今回の補正は前年度医療費の精算による社会保険診療報酬支払基金への償還金です。

度会町課設置条例の一部を改正する条例

防災行政無線を本年度整備するについて、総務課の事務分掌に「防災行政無線の通信確保に関すること」を付け加え、その

所管を明確にしました。

議会の議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

八月一日から金融機関の業務が第二土曜日に加え第三土曜日も休業になったことに伴い、議員の報酬および期末手当の支払日がこの日に当ることを勘案し支払日の調整をしました。

度会町職員給与条例の一部を改正する条例

前項と同じ主旨の改正を行うとともに児童手当法の特例給付期間（昭和六十一年六月～昭和六十五年五月）における扶養手当を調整する規定を整備し、同法との整合性を図った。

育児休業に係る給与等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業の算定の基礎となる地方公務員等共済組合の掛金に関する法律の改正に伴い、同法を引用する町条例の条文の整理を行った。

議会の議員その他非常勤の職員公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

寡婦年金の定義を国民年金法に定める寡婦年金と規定し、条文の整合性を図った。

度会町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正により、公有地の土地信託制度を導入することができるようになったため、議会の議決事項にその事項を追加した。

度会町税条例の一部を改正する条例

金融機関の週休二日制の導入により地方税法が改正されたた

め、町税条例においても法人町
民税の納期限の延長の申告基準
日の特例を改めた。

**度会町国民健康保険税条例の
一部を改正する条例**

医療費の増加や補助率の削減
により、国保財政は厳しい状況
にあるので、税率を改めるとも
に第四期以後の納期限を約一
カ月繰上げた。

**度会町立学校施設の開放に関
する条例の一部を改正する条例**
一之瀬小学校校舎改築工事に



伴い、同校に併設されていた夜
間照明施設を廃止するについて
同施設に係る条例の一部を削除
した。

**度会町老人医療費助成に関す
る条例**

老人医療費を助成する所得基
準は国民年金法に定める基準を
適用していることから、この度
の国民年金法の改正により、条
例の適用条項の整理と併せて同
条例を全部改正した。

**度会町農業共済条例を廃止す
る条例**

伊勢度会農業共済事務組合が
設立され、本町の農業共済事務
はこの組合に引き継がれたので
町の農業共済条例を廃止した。

**度会町非常勤消防団員に係る
退職報償金の支給に関する条例**

消防団員等公務災害補償等共
済基金施行令の一部を改正する
政令に基づき、本町非常勤消防
団員に係る退職報償金の支給額
の改正と遺族に関する排除規定
を明示した。

度会郡公平委員会規約の変更

同委員会の事務所の所在地が
国土調査法に基づく地籍調査に
より地番変更があったため、所
在地名地番を変更した。

三重県市町村職員退職手当組
合を組織する組合市町村の増加
組合市町村の名称変更及び三重
県市町村職員退職手当組合規約
の変更

一部事務組合の新規加入と三
雲村の町制施行に伴う名称変更
に伴う組合規約の変更を行った。

**度会郡町村老人福祉施設組合
規約の変更**

事務所の所在地が国土調査法
に基づく地籍調査により地番変
更があったため、事務所所在地
の地名地番を変更した。

**昭和六十年年度度会町農業共済
事業会計決算の認定について**

昭和六十年年度度会町農業共済
事業会計の決算が監査委員の意
見が付けれられ議会の認定に付さ
れた。

**度会町総合計画（第三次）に
ついて**

度会町総合計画（第三次）を
定めるについて、地方自治法の
規定により議会の議決が求めら
れた。

工事請負契約について

三千万円を超え、議会の議決
を必要とする度会町消防防災無
線通信施設整備事業の契約につ
いて議会の議決が求められた。

契約金額 一億二千六百万円
契約相手 津市羽所町三七五
沖電気工業（株）

三重支店

専決処分事項の指定について
町長において専決処分するこ
とができる事項として、町議会
の議決を経て締結した一之瀬小
学校校舎改築工事の契約金額の
三パーセント以内の変更が定め

同和对策の充実強化に関する
意見書の提出について

地域改善対策特別措置法は昭
和六十二年三月末に効力を失う
が、今だ改善を必要とする事項
も多く、新たな法的措置を早急
に望む意見書を関係機関に提出
することにした。

名月



『月々に月見る月は多けれ
ど、月見る月はこの月の月』と
言う歌があります。月はやっぱ
り中秋の名月に限ります。中秋
の名月にヌスキや団子供えて
月見をする風習は各地にありま
す。また、イモ名月と称して、
サトイモを供える地方もありま
す。

月の中にウサギがいると言っ
た話は、日本ばかりでなく中国、
インドなどにもありますし、メ
キシコインディアンなどにも月

のウサギの話が伝わっているそ
うです。

人間は古くから月にロマンを
感じてきました。その月に、初
めて人間が降り立ったのは、一
九六九年のことでした。アメリ
カの آپポロ十一号が七月二十日
に月の『静かな海』に着陸し、
アームストロング、オールドリン
の二人が月に立ったのです。

『一人の人間にとつては小さ
な一歩だが、人類にとつて大き
な飛躍である』と言ったアーム
ストロングの言葉は有名です。
人類が大きな飛躍をとげた代
わりに、月のロマンはなくなっ
てしまふのかと思いましたが、
最近、昔にも増して中秋の名
月の行事が盛んなようです。
アポロ計画の変更で、月のウ
サギは静けさが戻ったと喜んで
いるかもしれません。

総合計画を策定

基本計画などを定める

より効率的な行財政の運営を図り、少ない経費で最大の効果をもたらすためには、長期的な展望に立つた計画的な行財政の運営が何よりも必要であります。

度会町でも地方自治法で策定が義務付けられたこともあり、町の将来を展望した第一次総合計画を昭和五十一年に策定するとともに、昭和五十六年には昭和六十年までの基本計画等を定めた第二次総合計画を策定し、その基本構想である「明るく、住みよい、生きがいのあるまちづくり」に添った行財政の運営を図ってきました。

このような経過を経て、第三次度会町総合計画は昭和六十一年度から昭和六十五年までの五箇年間の基本構想、基本計画を定めた計画として、昭和六

十年度に策定が進められ、去る七月の定例町議会で議会の議決が求められました。

第二次計画期間中の過去五年間には、町政を取巻く環境にも大きな変化がみられました。町民の意識・価値観は更に多様化し、国及び地方を通じ行財政の改革が強く叫ばれました。また、高齢化社会は急速に進み、高度情報化社会の到来、経済の低成長と円高問題等は少なからず町政に影響を与えています。これらの大きな変化を勘案し今回の第三次計画では前回の計画の基本構想にも一部修正を加え、六十五年までの基本計画等が定められました。

この計画の明るいまちづくり、住みよいまちづくり、生きがいのあるまちづくりの大きな三本柱について、基本計画を要約すると次のとおりです。

「明るいまちづくり」

◆生活環境の整備

自然保護思想の高揚に努め、環境汚染の指導監視体制を強化し、公害の未然防止に努め、住民の健康を守る各種検診を実施し、病気の早期発見に努めるとともに、高齢者層に利用の多い町営診療所については、引き続き充実強化を図る。

◆社会福祉の充実

民生・児童委員や社会福祉協議会を中核とした幅広い福祉の組織・体制の確立と育成に努め、

高齢者、母子世帯、身体障害者、低所得者等、社会的弱者への温かい心の通った福祉対策を講じている。

また、老朽化の著しい中之郷、南中村の両保育所については、計画的な整備を行う。

◆防災安全の確立

本町の気象条件や地形構造は台風襲来時に多量の雨が集中し、山崩れ、がけ崩れ、土石流の発生する危険性をはらんでいる。また、近年の交通量の増大に伴

い、町内でも交通事故が多発し大きな社会問題となっている。このため防火、防災、交通安全、防犯等に対する町民の意識の普及、高揚に努め、施設の整備を進めるとともに、危険箇所等の点検を実施し、災害の未然防止に努める。



橋梁整備が予定される久具の渡し

第3次 町会度

61年度から65年度までの

「住みよい」まちづくり

◆町の基盤整備

町を縦貫する伊勢南島線及び伊勢大宮線の両県道の未改良区間の早期改良と昭和六十八年に伊勢まで開通が予定される近畿自動車道伊勢線へ連結する道路網の整備を促進し、町道川南

線や町民の生活に直結した町道の整備についても、きめ細かな整備を進める。

河川については宮川や一之瀬川を初め、町内には大小百余の河川があるが、一級及び二級河川への昇格を進めるとともに、

改修、護岸補強等についても抜本的な保全対策を構じる。

また、簡易水道については、各簡易水道の増補改良を行うとともに、南部、中部、東部西部の四簡易水道を目標に統合整備を行い、料金統一と集中管理体制の導入を進める。

一方、水の使用量の増加とともに生活雑排水が増え、環境汚染が問題となっている。このため河川の浄化対策と相まって公共下水道の整備計画を樹立する。

◆産業の振興

本町の農業は第二種兼業農家が大半を占めているが、町の産業活動の根幹をなすものは依然として農業である。このため、その生産基盤である農地の基盤整備を今後とも積極的に進め、経営の受委託等を推進し、農業の近代化を図る。また、農産物の高付加価値化など総合的な施策を推進する。

林業については、町面積の八十五パーセントを占める肥沃な山林を生産基盤としているが、その経営規模は小さく、生産基盤の未整備や全国的な林業不況から生産活動の停滞を招いている。

このため林道網の整備を進めるとともに、林業労務班の組織化等により、労働力の確保を図るとともに、戦後急速に植林が進められ、現在間伐、除伐の必要な林齢林に対しては、補助事業等を積極的に導入し、育林、保育を推進する。

工業については、近畿自動車道伊勢線の開通が町内工業の振興に大きな飛躍の要素となり得るので、これとの関連性を重視し、条件整備に努める。

商業については、町民の消費行動の拡大や消費志向の多様化のなかで町内商業のおかれている状況は厳しいが、今後とも商工会を中心に経営の合理化を推進し、きめ細かなサービスや商品知識、販売技術の向上を図る必要がある。

また、サニード沿いに町の特産品である茶、しいたけ等を販売する企業経営による物産館の建設を検討し町の特産品の高付加価値化と商業の振興に資する。



新農構により整備された内城田西部製茶工場 (平生)



ほ場整備が計画されているわんだ地区 (上久具)

「生きがいのあるまちづくり」

まちなみづくり

◆教育文化の振興

学校教育にあつては、校舎、屋内運動場の施設整備を重点的に進め、現在大きな社会問題となっているいじめ対策については、児童・生徒が人間愛の尊さを自覚し、生命の大切さを学ぶような取り組みを教育現場や家庭において推進する。

社会教育活動においては、各種講座の種類内容を更に充実し

町民各層からの広い参加を促すとともに、今後は講座内容も趣味教養だけにとどまらず地域の抱えている課題等についても広く採り上げていく。

また、社会体育を振興するには、将来的には総合グラウンドや体育館の整備が必要であろうが、当面は学校開放施設の利用を積極的に進め、体育協会や体育指導委員会等の育成強化を図るとともに、こ

れらを軸に町民

皆スポーツに添った施策を推進する。

文化財は祖先が残した国民共通の文化遺産であり、保護・保存に努め、公民館活動や各種の文化活動を通して、文化財愛護思想の高揚に努める。

また、中央公民館に郷土資料室を設置し、町の文化財の収集保存に努める。

◆住民行政の充実

即応体制の取り易い行政機構

への改革を行うとともに、職員
の資質の向上に努める。
一方、高度情報システムの発
達に伴い、サービスの迅速化、
正確化を図り、事務処理の省力
化のため事務のOA化を推進す
る。

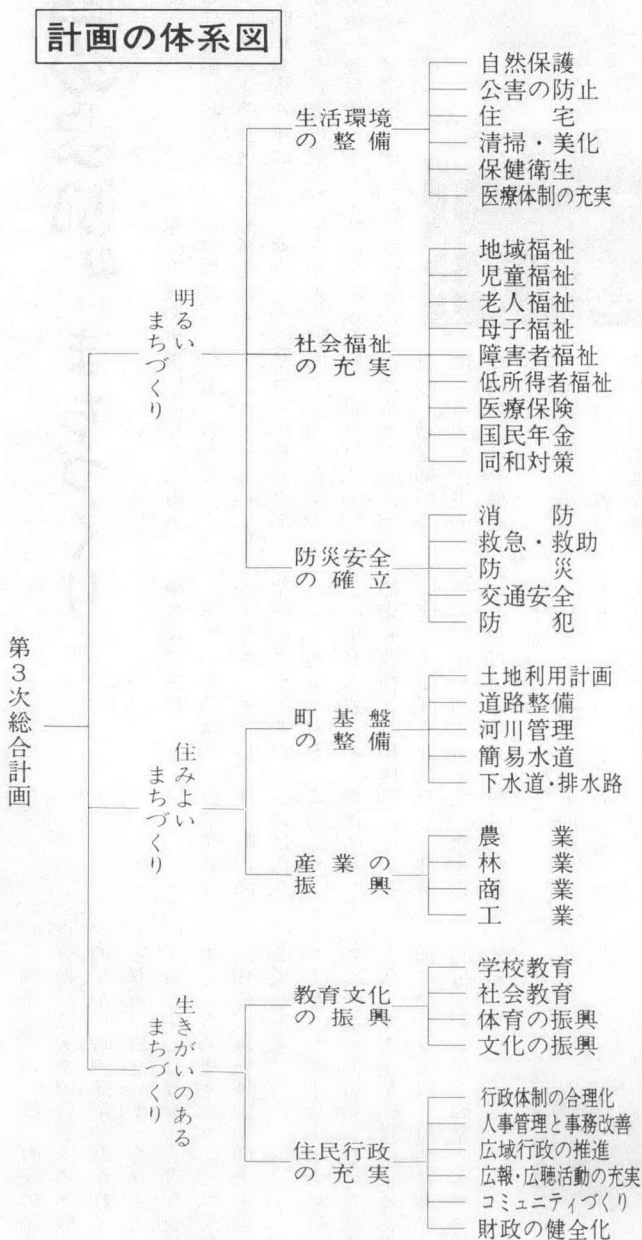
広域行政については、より効
率的な行政を目指して、今後と
も可能な分野についての広域行
政化を推進する。

広報・広聴活動、とりわけ広
聴活動については、より相談し
やすい窓口の開設に努め、アン
ケート調査や懇談会等を実施し、
住民参加の行政の推進に努める。



鉄筋二階建に改築工事が進められている一之瀬小学校

計画の体系図



いつも盛況高齢者学級(内城田学級)

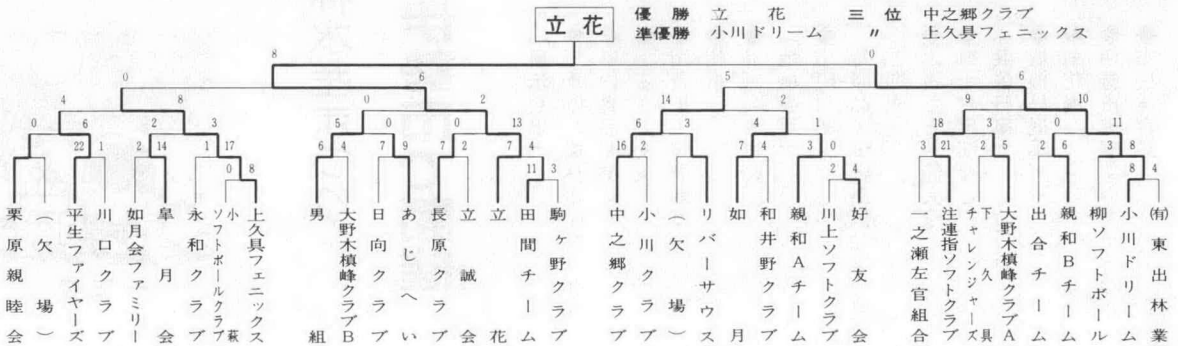
一般ソフトボール大会

立花チームが連続優勝

度会町一般ソフトボール大会は、今年も体育協会の主催により七月二十七日(日)と八月三日(日)の二日間、災天下のグラウンドで熱戦が展開され、立花チームが昨年に続いて連続優勝を飾りました。

今年で十四回目を迎えるこの大会は真夏のスポーツイベントとして、すっかり定着しており、今年も各字単位や町内の事業所の職場単位に編成されたチームが三十六チーム、エントリーしましたが、当日区の行事で参加できなかった二チームを除く三十四チームにより優勝が争われました。

優勝した立花チームはウィンドミルの本格派投手を擁し、優勝までに戦った五試合中四試合まで相手チームに得点を許さず、味方打線もこの好投をよくもり立て、見事連続優勝を飾りました。



公民館だより

…公民館の各講座とも順調に行われ、計画の約半分を終りましたが、毎月の出席は、大変なことだと思えます。

ことに、むし暑い夏場の講座への参加は、かなり努力が必要です。

…八月のことぶき学級は、十七、十八の両日各地区の施設で、その学区の小学校長さんを講師に迎えて、教育の現状と教育目標などについて、勉強されました。

おとしよりにとっては、可愛い孫たちの教育とあつて、熱心に受講されている姿が印象に残りました。

…十一月のことぶき学級の講座は、注連縄(しめなわ)づくりですが、そのときの教材として必要なわらを五、六把各自で確保していただくようお願いがいたします。

この頃の稲刈りは、コンバインで、わらを細かく切りきざんで、しまいますので、教材のわらは、ぜひ手刈りで刈り取って下さい。

…八月は、公民館の図書室も、夏休みの子供たちを中心に、ふだんより利用されました。夏休みが終ると灯下親しむ季節、読書の秋を迎えますが、静かな図書室で親子ともども読書に親しみました。

…九月から、公民館を利用された場合、お帰りのとき、使用責任者の方に、利用カードを書いていただくことにいたしました。これは、公民館の利用状況の確実な把握と、今後の公民館の運営に活用するためのものです。ご協力下さい。

…度会郡社会教育振興大会は、十一月十六日(日)度会町中央公民館と町民体育館を会場として、開催されますが、町民文化祭も同日、協賛行事として、開催されます。

早くから心がけていただきこれらの行事へ多数の出品をお願いします。(YS)

ワイエス

献血協力団体として 知事から感謝状

本町棚橋のワイエス磁器管製作所が去る八月二十二日津市の三重県医師会館において開催された献血感謝のつどいにおいて、献血協力団体として三重県知事から感謝状を贈られました。

磁器管製作所は三重県赤十字血液センターの推せんもあり献血回数五十回以上の個人や県下他の事業所とともに感謝状の贈呈を受けたものです。

本報文芸

茶の実句会抄 野田翠楊選
川へだて鉦わたり来る蟲送り
麻加江 中村 和代

風鈴の音色それぞれ旅ありて
麻加江 辻本 正
七月の茶を刈り終へて大欠伸
大久保 浦田 フユ
文月やワイングラスを磨きける
棚橋 松本 貞翠

文月や無沙汰の人を順に追ひ
大野木 山下弥十彦
月見草大群りしはこのあたり
麻加江 中嶋 久子
この暑さ進まぬ源氏物語
立花 北村 仲子
片蔭に宅急便車憩ふなり
坂井 山中 輕衣
七月や坊主刈りして孫もどる
棚橋 山本 順

お知らせ版



十五夜

第二回

三重県農林水産まつり 十月十日 と十一日 伊勢市で開催

農林水産業の役割や現状について、広く県民のみなさんに知っていただくとともに、地域で生産された農林水産物の需要拡大を図るため、昨年より開催されている「三重県農林水産まつり」が、十月十日、十一日の両日、伊勢市の三重県体育館を主会場として開催されます。

今年、第二回目で、主催は三重県農林水産まつり実行委員会(会長・田川亮三三重県知事)、テーマは「交流」で、都市と農村、老人と若者など多くの場面でのふれ合いを通じ相互の発展をはかることを目的としております。本町からも、地域会場へ特産品の「お茶」ほかの展示を予定しております。

〔展示会場〕

- ◆三重県の農林水産業紹介
- ◆県内食品産業紹介
- ◆ふるさと交流
- ◆消費拡大・試飲試食
- ◆朝市
- ◆品評会等表彰
- ◆〔地域会場〕
- ◆市町村紹介
- ◆特産品・伝統工芸品等の展示と即売
- ◆ふるさと芸能大会
- ◆郷土食実演など
- ◆〔共催行事〕
- ◆農機具展示
- ◆菊花展
- ◆伊勢市健康フェスティバル
- ◆市民体育祭

広域農業開発 基本調査

意向調査にご協力を

地域農業の総合的な開発計画を策定するための「広域農業開発基本調査」を、内城田・中川

子育てでお困りの方へ 巡回子ども相談所を開設

南勢志摩児童相談所では今年も次のとおり巡回子ども相談所を開催します。

三歳児検診で相談をすすめられた方はもちろん、しつけ、ことばの遅れ、交遊関係やいじめ問題、学校嫌いや勉強嫌い、万引、金銭乱費、夜遊びや不良交友などで困りごとのある方はこの機会に相談所をご利用ください。

相談に関する秘密は固く守られます。
◆日時 九月二十二日 午前

地区の農家を中心に実施いたします。

この調査は、東海農政局が昨年度より三カ年で実施している農用地の開発を進めるための、農用地として開発可能な山林原野などの土地資源の分布、土質調査にあわせて、対象地域の農家の方々の農業の現状と将来についてお尋ねするアンケート調査です。ご協力をお願いします。

この調査事業には、「伊勢丘陵地域」として、伊勢市・玉城町・二見町・小俣町・南勢町・南島町・大宮町・紀勢町・御園村・大内山村・度会町の十一市町村が対象となっています。

- ◆場所 母子健康センター
- ◆相談員 南勢志摩児童相談所職員
- ◆時間 九時半～午後三時

ナースバンク

登録者を募集

保健婦・助産婦・看護婦(士)准看護婦(士)の免許を持ちながら、現在就業していない方々をあらかじめ登録しておき、就業希望の方には無料で職業紹介す



おめでた

七月中に届出のもの

氏名	父名	続柄	字名
金高菜津子	和久	二女	立岡
山中 隆弘	正	二男	坂井
山本 剛典	喜彦	長男	川口
松井 愛	芳彦	長女	鮎川

おくやみ

七月中に届出のもの

氏名	年齢	字名
山下ゆり子	33歳	葛原
秋山キクエ	62歳	脇出
金高菜津子	0歳	立岡
伊藤 信雄	55歳	日向
鈴木 正夫	70歳	脇出
森 乙吉	80歳	中之郷
岡村 仙助	91歳	棚橋